

Roland

MULTI-FORMAT VIDEO SWITCHER **V-800HD**

リファレンス・マニュアル

本書では V-800HD のメニュー構成および表示されるメッセージについて解説します。



© 2012 ローランド株式会社

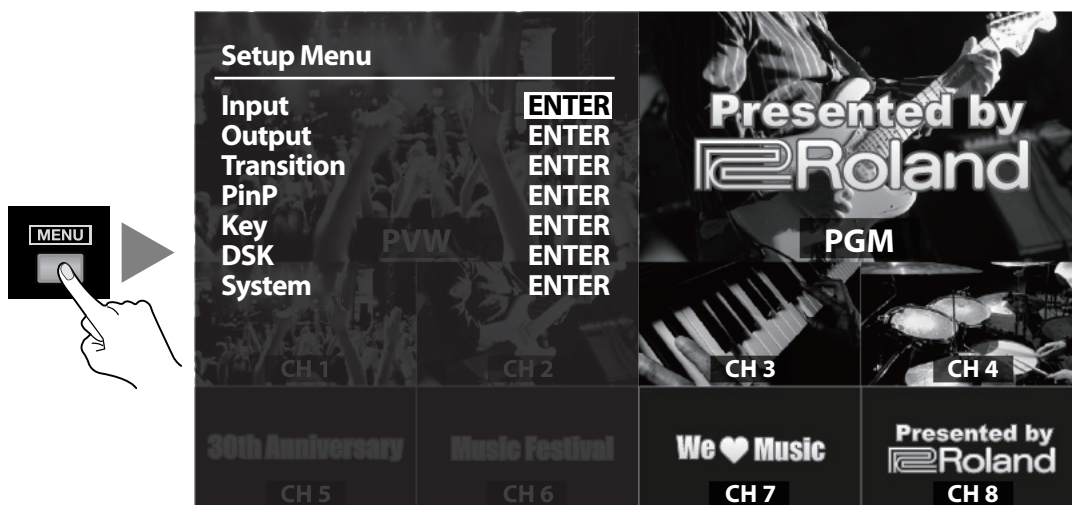
本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。

- ※ Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ※ MIDI は社団法人 音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ※ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

メニューの一覧

トップ・パネルの [MENU] ボタンを押すと、V-800HD に接続されたマルチ・ビュー・モニターにメニューが表示されます。

※ メニュー表示を消すには、トップ・パネルの [EXIT] ボタンまたは [MENU] ボタンを押します。



最初に以下の第一階層が表示され、目的に応じて項目を選びます。メニュー構成と各項目については、次ページ以降をご参照ください。

Input	ソースの割り当てなど、入力の設定を変えます。
Output	出力フォーマットの設定などを変えます。
Transition	切替効果の設定を変えます。
PinP	ピクチャー・イン・ピクチャーの設定を変えます。
Key	ルミナンス/クロマ・キーの設定を変えます。
DSK	DSK合成の設定を変えます。
System	V-800HDのシステム設定を変えます。

メモ

表示/設定値の [] で囲まれている値は、工場出荷時の設定です。[ENTER] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、工場出荷時の設定に戻すことができます。

メモ

[ENTER] ボタンを押しながら [VALUE] ダイアルを回すと、設定値を 10 個づつ飛ばしながら送る/戻すことができます。

メモ

バージョン 1.50 から追加された機能には「**1.5**」マークが項目の左側にあります。

メモ

ソフトウェアのバージョン・アップ・データは以下ローランド・ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.roland.co.jp/solution/>

1.5 HDCP 非対応マルチ・ビュー・モニター対応

マルチ・ビュー・モニターに HDCP 非対応のモニターが接続可能です。

ただし、HDCP 非対応モニターを接続中に V-800HD の HDCP を ON にした場合、マルチ・ビューは青一色になり、メニュー表示のみとなります。

INPUT メニュー

項目	表示/設定値	解説
Ch.1 ~ Ch.4	No Signal, 720x480@59.94Hz ~ 1920x1080@59.94Hz	現在入力されている信号フォーマットを表示します。
	[3G/HD/SD-SDI]、Composite、Shared Input	現在選ばれている入力端子を表示します。 ただし、Ch.1 では [Shared Input] は表示されません。 メニューが表示されていないとき、[MENU]+[PST/EFFECT] で選択を切り替えることができます。
Ch.5 ~ Ch.8 ※	No Signal, 720x480@59.94Hz ~ 1920x1200@60.00Hz	現在入力されている信号フォーマットを表示します。 HDCP 信号が入力されているとき、[HDCP] と表示されます。
	[DVI-D/HDMI] または [DVI-A]、RGB/Component、 Shared Input	現在選ばれている入力端子を表示します。 ただし、Ch.5 では [Shared Input] は表示されません。 メニューが表示されていないとき、[MENU]+[PST/EFFECT] で選択を切り替えることができます。
Ch.9	Memory No.1、Still Image	現在選ばれている静止画のメモリー番号を表示します。 メニューが表示されていないとき、[MENU]+[PST/EFFECT] で静止画の選択を切り替えることができます。
Ch.10	R:16 G:16 B:16 [Background]、Still Image	バックグラウンド・カラーの設定値を表示します。または現在選ばれている静止画のメモリー番号を表示します。 メニューが表示されていないとき、[MENU]+[PST/EFFECT] で静止画メモリー番号の選択を切り替えることができます。

※ Ch.5 ~ Ch.8 では、リア・パネルのスイッチ操作により表示される端子名が変わります。

DVI-D を選択している場合、[DVI-D/HDMI] が表示されます。DVI-A を選択している場合、[DVI-A] が表示されます。

メモ

画面上部に [ENTER] が表示されている場合は、[ENTER] ボタンを押して下の階層に進むことができます。下の階層で詳細設定を行います。



Ch.1 ~ Ch.4 (3G/HD/SD-SDI、Composite、Shared Input) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Scaling		スケーリングに関する設定をします。
Zoom	10% ~ [100%] ~ 1000%	拡大/縮小率を設定します。
Type	[Full]、Letterbox、Crop、Dot by Dot、Manual	スケーリング・タイプを選択します。
	Full	アスペクト比を保持せず、入力される映像全体を出力画面全体にあわせて表示します。
	Letterbox	アスペクト比を保持し、出力画面に入力される映像全体を表示します。
	Crop	アスペクト比を保持し、入力される映像を出力画面全体に表示します。
	Dot by Dot	スケーリングを行いません。
	Manual	以下のManual設定に従ってスケーリングします。
Manual Size H	-2000 ~ [0] ~ +2000 ※	横幅を設定します。
Manual Size V	-2000 ~ [0] ~ +2000 ※	縦幅を設定します。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920 ※	横位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 ※	縦位置を設定します。
Color Correction		以下の項目で、色補正を行います。
Brightness	-64 ~ [0] ~ +63	明るさを調整します。
Contrast	-64 ~ [0] ~ +63	コントラストを調整します。
Saturation	-64 ~ [0] ~ +63	彩度を調整します。
Red	-64 ~ [0] ~ +63	赤レベルを調整します。
Green	-64 ~ [0] ~ +63	緑レベルを調整します。
Blue	-64 ~ [0] ~ +63	青レベルを調整します。

※ 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。上記は最小/最大値です。

Ch.5 ~ Ch.8 (DVI-D/HDMI) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Color Space	[Auto]、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YCC(SD)、YCC(HD)	カラー・スペースを選択します。
Flicker Filter	ON、[OFF]	フリッカー・フィルターの有効/無効を選びます。
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)
Color Correction		色補正を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)

Ch.5 ~ Ch.8 (DVI-A、RGB/Component) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Color Space	[Auto]、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YCC(SD)、YCC(HD)	カラー・スペースを選択します。
Flicker Filter	ON、[OFF]	フリッカー・フィルターの有効/無効を選びます。
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)
Color Correction		色補正を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)
Sampling		サンプリングに関する設定を行います。
Auto Sampling	Execute	[ENTER] ボタンを押すと、自動的にサンプリング設定を実行します。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920 *	横方向のサンプリング開始位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 *	縦方向のサンプリング開始位置を設定します。
Frequency	-128 ~ [0] ~ +127 *	サンプリングの周期を設定します。
Phase	-128 ~ [0] ~ +127 *	サンプリングの位相を設定します。

* 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。上記は最小/最大値です。

Ch.5 ~ Ch.8 (Shared Input) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)
Color Correction		色補正を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)

Ch.9 ~ Ch.10 (Still Image) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Still Image Memory	No.[1] ~ 16	静止画のメモリ番号を選びます。使用されている番号には [*] が付きます。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920 *	横方向の表示位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 *	縦方向の表示位置を設定します。
Color Correction		色補正を行います。(Ch.1 ~ Ch.4 と同様)

* 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。上記は最小/最大値です。

Ch.10 (Background) の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Color		R/G/B でバックグラウンド・カラーを設定します。
Red	0 ~ [16] ~ 255	赤レベルを設定します。
Green	0 ~ [16] ~ 255	緑レベルを設定します。
Blue	0 ~ [16] ~ 255	青レベルを設定します。

Output メニュー

項目	表示/設定値	解説
Format		出力フォーマットに関する設定を行います。
Main	480i4:3 ~ [1080i] ~ WUXGA	メイン出力フォーマットを選択します。
RGB/Component	480p4:3 ~ [SXGA] ~ WUXGA	RGB/Component 出力フォーマットを選択します。 *インターレース出力はできません。
Composite	[480i4:3/576i4:3]、 480i16:9、576i16:9	Composite 出力フォーマットを選択します。
1.5 AUX Source	Mixer Input、Mixer Output、DSK Source、 DSK Output、Input CH.1 ~ Input CH.10	AUXバスの信号を選択します。 入力チャンネルの映像を AUX バスに送ることができます。 ただし、このとき DSK は使用できなくなります。
Source Assign		出力端子ごとに出力する信号バスを選択します。 HDCP 接続されている場合、端子名に [HDCP] が表示されます。 () 内は出力中のフォーマットです。空欄の場合は出力していません。
SDI 1	[PGM]、PVW、AUX	SDI 1 端子に出力するバスを選択します。
SDI 2	PGM、[PVW]、AUX	SDI 2 端子に出力するバスを選択します。
DVI-D/HDMI 1	[PGM]、PVW、AUX	DVI-D/HDMI 1 端子に出力するバスを選択します。
DVI-D/HDMI 2	PGM、[PVW]、AUX	DVI-D/HDMI 2 端子に出力するバスを選択します。
RGB/Component	[PGM]、PVW、AUX *	RGB/Component 端子に出力するバスを選択します。
Composite	[PGM]、PVW、AUX *	Composite 端子に出力するバスを選択します。
HDMI	[Multi-view]	マルチ・ビュー・モニター出力は固定です。

* RGB/Component と Composite は共通のバスが選択されます。個別に選ぶことはできません。

Main の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。
Zoom	10% ~ [100%] ~ 1000% *	縮小/拡大率を設定します。
Size H	-2000 ~ [0] ~ +2000 *	横幅を設定します。
Size V	-2000 ~ [0] ~ +2000 *	縦幅を設定します。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920 *	横位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 *	縦位置を設定します。
Cropping		クロッピングに関する設定を行います。
Orientation	[Upper Left]、Upper Right、Lower Left、 Lower Right、Center	クロッピングの基準点を選択します。
Type	[Full]、4:3、5:4、16:9、Manual	各設定値でのクロッピングは以下のとおりです。
	Full	Zoom の値が 100% のとき、画面全体に表示します。
	4:3、5:4、16:9	指定の比率でクロップします。Zoom の値が 100% のとき、縦または横のレターボックスが付きます。
	Manual	以下の Manual 設定に従ってクロッピングします。
Manual Size H	0 ~ [128] ~ 2000 *	横幅を設定します。
Manual Size V	0 ~ [128] ~ 2000 *	縦幅を設定します。
1.5 Color Correction		以下の項目で、色補正を行います。 ver 1.5 より出力の色調節幅が拡大しました。
Brightness	-128 ~ [0] ~ +127	明るさを調整します。

項目	表示/設定値	解説
Contrast	-128 ~ [0] ~ +127	コントラストを調整します。
Saturation	-128 ~ [0] ~ +127	彩度を調整します。
Red	-64 ~ [0] ~ +63	赤レベルを調整します。
Green	-64 ~ [0] ~ +63	緑レベルを調整します。
Blue	-64 ~ [0] ~ +63	青レベルを調整します。
1.5 3G-SDI Mapping	Level A、Level B	3G-SDI の Level B マッピング (1080p50Hz、1080p59.94Hz) に対応します。入力信号の 3G-SDI マッピングは自動判別します。出力信号の 3G-SDI マッピングをメニューで選択します。
DVI-D/HDMI		DVI-D/HDMI 端子の信号に関する設定を行います。
Output 1		DVI-D/HDMI 出力端子 1 に関する設定を行います。
Signal Mode	[DVI-D]、HDMI	[DVI-D]、HDMI
Color Space	[RGB(0-255)]、RGB(16-235)、YCC(444)、YCC(422)	カラースペースを選択します。
Output 2		DVI-D/HDMI 出力端子 2 に関する設定を行います。
Signal Mode	[DVI-D]、HDMI	[DVI-D]、HDMI
Color Space	[RGB(0-255)]、RGB(16-235)、YCC(444)、YCC(422)	カラースペースを選択します。

※ 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。上記は最小/最大値です。

RGB/Component の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Color Space	[Auto]、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YCC(SD)、YCC(HD)	カラー・スペースを選択します。
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。(Main と同様)
Color Correction		色補正を行います。(Main と同様)

Composite の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Scaling		スケーリングに関する設定を行います。(Main と同様)
Color Correction		色調節に関する設定を行います。(Main と同様)

Transition メニュー

項目	表示/設定値	解説
Time	0.0s ~ [1.0s] ~ 10.0s、0s0f ~ 10s0f、0f ~ 300f	トランジション・タイムを設定します。 表示はシステム・フレーム・レートと Unit の設定によって変わります。
Unit	[Seconds]、Seconds.Frames、Frames	トランジション・タイムの単位を選択します。
Wipe Pattern	1 ~ 7、[MIX]	ワイプ・パターンを選択します。

Wipe Pattern 1 ~ 7 の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Pattern	Horizontal、Vertical、Horizontal Open、Vertical Open、Upper Left、Upper Right、Lower Left、Lower Right、Box	ワイプ・パターンを選びます。 Wipe Pattern ボタン [1] ~ [7] の工場出荷時の設定は、以下の通りです。 1 : Horizontal 2 : Vertical 3 : Upper Left 4 : Upper Right 5 : Lower Left 6 : Lower Right 7 : Box
Direction	[Normal]、Reverse、N/R	ワイプ方向を選択します。
Border		以下の項目でワイプのボーダーに関する設定を行います。
Width	[0] ~ 63	ボーダーの幅を設定します。
Red	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の赤レベルを設定します。
Green	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の緑レベルを設定します。
Blue	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の青レベルを設定します。

PinP メニュー

項目	表示/設定値	解説
Status	[OFF]、PVW、PGM	PinP 合成の出力状態を以下から選択します。
	OFF	使用しない
	PVW	プレビューに表示する
	PGM	最終出力に表示する
Position	1 ~ 4	Position で [1] ~ [4] を選び、[ENTER] ボタンを押すと、各ポジションの詳細設定を行うことができます。

Position 1 ~ Position4 の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
PinP		PinP の [1] ~ [4] ボタンに関する設定を行います。
Size	-10% ~ [30%] ~ +100%	子画面のサイズを設定します。
Position H	-100% ~ +100%	子画面の横位置を設定します。
Position V	-100% ~ +100%	子画面の縦位置を設定します。
Cropping Type	[Original]、4:3、5:4、16:9、Manual	子画面をクロッピングするときのタイプを選びます。
Manual Cropping H	-2000 ~ [0] ~ +2000	横方向のクロッピング幅を設定します。 * Cropping Type が "Manual" のとき有効
Manual Cropping V	-2000 ~ [0] ~ +2000	縦方向のクロッピング幅を設定します。 * Cropping Type が "Manual" のとき有効
Border		ボーダーに関する設定を行います。
Width	0 ~ [5] ~ 63	ボーダーの幅を設定します。
Color		ボーダー色に関する設定を行います。
Red	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の赤レベルを設定します。
Green	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の緑レベルを設定します。
Blue	0 ~ [128] ~ 255	ボーダー色の青レベルを設定します。
View		子画面に表示する画像の拡大/縮小や位置設定を行います。
Size	10% ~ [100%] ~ 1000%*	拡大/縮小率を設定します。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920 *	横方向の表示位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 *	縦方向の表示位置を設定します。

* 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。上記は最小/最大値です。

メモ

PinP ボタンの [1] ~ [4] では、工場出荷時の子画面位置は以下のように設定されています。

PinP ボタン	工場出荷時の子画面の位置設定
1	Position H : -25%、Position V : -25%
2	Position H : +25%、Position V : -25%
3	Position H : -25%、Position V : +25%
4	Position H : +25%、Position V : +25%

Key メニュー

項目	表示/設定値	解説
Status	[OFF]、PVW、PGM	キー合成の出力状態を以下から選択します。
	OFF	使用しない
	PVW	プレビューに表示する
	PGM	最終出力に表示する
Mode	[Self key]、External Key	キー・モードを選択します。

Self keyの詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Type	Luminance 1 (White)、 [Luminance 2 (Black)], Chroma 1 (Blue)、Chroma 2 (Green)	キー合成のタイプ (抜き色) を選択します。 各タイプでの抜けかたは以下のとおりです。
	Luninance 1 (White)	明るい領域を透過領域とする。
	Luminance 2 (Black)	暗い領域を透過領域とする。
	Chroma 1 (Blue)	青の領域を透過領域とする。
	Chroma 2 (Green)	緑の領域を透過領域とする。
Level	0 ~ [32] ~ 255	透過度を設定します。
1.5 Hue		Type が Chroma 1、Chroma 2 のとき有効です。 キー色の色の微調節が可能になりました。
Fine	-128 ~ +127	色相の中心値を調節します。
Width	-128 ~ +127	色相の幅を調節します。 (Width は従来の Hue と同じ効果が得られます。)
Saturation	-128 ~ [0] ~ +127	彩度を微調整します。 Type が Chroma 1、Chroma 2 のとき有効です。
Gain	[0] ~ 255	半透過領域 (ぼかす部分) を設定します。

External Key の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Type	White、[Black]	キー合成のタイプ（抜き色）を選択します。
Key Coupling	Fill - Source	キー・フィル・チャンネルとエクスターナル・キー・ソース・チャンネルの関連付けを設定します。
Ch.1	Ch.1 ~ [Ch.8] ~ Ch.10	キー・フィルが Ch.1 ~ Ch.10 のときのエクスターナル・キー・ソース・チャンネルを選択します。
Ch.2		
Ch.3		
Ch.4		
Ch.5		
Ch.6		
Ch.7		
Ch.8		
Ch.9		
Ch.10		

DSK メニュー

項目	表示/設定値	解説
PGM Output	[OFF]、ON	DSK を最終出力する/しないを設定します。
PVW Output	[OFF]、ON	DSK をプレビュー出力する/しないを設定します。
Type	Luminance 1 (White)、 [Luminance 2 (Black)]、 Chroma 1 (Blue)、Chroma 2 (Green)	キー合成のタイプ (抜き色) を選択します。 各タイプでの抜けかたは以下のとおりです。
	Luminance 1 (White)	明るい領域を透過領域とする。
	Luminance 2 (Black)	暗い領域を透過領域とする。
	Chroma 1 (Blue)	青の領域を透過領域とする。
	Chroma 2 (Green)	緑の領域を透過領域とする。
Level	0 ~ [32] ~ 255	透過度を設定します。
1.5 Hue		Type が Chroma 1、Chroma 2 のとき有効です。 キー色の色の微調整が可能になりました。
Fine	-128 ~ +127	色相の中心値を調節します。
Width	-128 ~ +127	色相の幅を調節します。 (Width は従来 of Hue と同じ効果が得られます。)
Saturation	-128 ~ [0] ~ +127	彩度を微調整します。 Type が Chroma 1、Chroma 2 のとき有効です。
Gain	[0] ~ 255	半透過領域 (ぼかす部分) を設定します。
Source Channel	1 ~ [8] ~ 10	DSK 合成で上に重なる映像のチャンネルを選択します。

注意

エクスターナル・キーが有効のとき、DSK は無効です。DSK を使用する場合は Key メニューで Mode を [Self Key] に変更してください。

System メニュー

項目	表示/設定値	解説
HDCP	[OFF]、ON	HDCPの無効/有効を選択します。 [ON] 選択時には確認画面が表示されます。
Color Space	RGB、[YCC]	カラー・スペースを選択します。
NTSC Setup Level	[0IRE]、7.5IRE	NTSCのセットアップ・レベルを選択します。
Frame Rate	[59.94Hz]、50Hz	V-800HDのシステム・フレーム・レートを選択します。
1.5 Reference	Internal、External、 Input SDI 1 ~ Input SDI 4 ※ 1	V-800HDの同期モードを選択します。 SDI入力信号をリファレンスとしてV-800HDが同期動作することができます。メニューでリファレンスとするSDI入力を選択します。
Clock Adjust	-1920 ~ [0] ~ +1920 ※ 2	[External] 選択時の同期設定を行います。
Line Adjust	-1200 ~ [0] ~ +1200	[External] 選択時のラインの設定を行います。
1.5 Field Sync Processing	ON、OFF(従来方式)	インターレースの入出力において、フィールドを一致させることができます。
	ON	フィールド同期処理を有効にします。入出力でフィールドは一致し画質は向上しますが、処理時間は増加します。
1.5 Panel Operation	PGM/PST(従来方式)、A/B	A/Bスイッチング方式で操作することができます。 クロスポイントのPGM列、PST/EFFECT列に関係なく、ビデオフェーダーの位置によりPGM列が決まります
	赤色に点灯	PGM出力しているチャンネル
	緑色に点灯	PST出力しているチャンネル
	エフェクト動作時は、背景映像のCHは赤色に点灯し、エフェクトのCHは橙色になります。	
Output Capture		[ENTER] ボタンを押すと、最終出力からの静止画像作成に関する詳細設定が行えます。
Output Fade		[ENTER] ボタンを押すと、アウトプット・フェードに関する詳細設定が行えます。
Multi-view Label		[ENTER] ボタンを押すと、マルチ・ビューのラベルに関する詳細設定が行えます。
Cross-point Assign		[ENTER] ボタンを押すと、マルチ・ビューのラベルに関する詳細設定が行えます。
Remote	[OFF]、ON	RS-232C機器からのリモート制御の無効/有効を選択します。
MIDI		[ENTER] ボタンを押すと、MIDIに関する詳細設定が行えます。
1.5 Memory Recall Parameters	All、Cross-point	MEMORY ボタン操作によって読み出しするパラメータを選択できます。
	ALL	従来通り全部のパラメータを読み込みます。
	Cross-point	演出に関する部分のみを読み込みます。(チャンネル選択、KEY設定、PinP設定、DSK設定、Wipe設定、入力端子選択)

※ 1 : Input SDI 1 ~ Input SDI 4 を選択した場合、選択した V-800HD の出力の vsync が同期します。
このときの遅れが最短になります。入出力のフィールド同期をとる場合は、以下の設定をしてください。

System → Field Sync Processing を ON にする	処理時間がかかりますが、自動で入出力のフィールドが一致します。
System → Reference Line Adjust を調節する	入出力の位相はずれますが、入出力のフィールドが合っている状態で遅れを最短にすることができます。

※ 2 : 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。記載の値は最小/最大値です。

メニューの一覧

項目	表示/設定値	
Memory Switch Fade	[OFF]、ON	メモリー読み出し時に自動的にアウトプット・フェードする/しないを選択します。
Memory Protect	[OFF]、ON	MEMORY ボタンへの保存操作の有効/無効を選択します。
1.5 Auto Memory	ON、OFF(従来方式)	現在の機器の状態を自動でメモリー1-1に書き込みます。次回起動時にメモリー1-1の内容が読み込まれ機器の状態が再現されます。 書き込まれるタイミングはメニュー・カーソルを操作したときです。クロス・ポイントや、ビデオ・フェーダーなどの操作では書き込みは行われません。
USB Memory		以下の項目でUSBメモリーに関する操作を行います。
Parameter		[ENTER] ボタンを押すと、USBメモリーへの保存/読み込みに関する詳細設定を行うことができます。
Still Image		[ENTER] ボタンを押すと、静止画を読み込みに関する詳細設定を行うことができます。
Format		USBメモリーの初期化を実行します。 [Execute] で [ENTER] ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
Still Image Delete		V-800HDの内部メモリーに保存された静止画を消去します。
Video Fader Calibrate		[Execute] で [ENTER] ボタンを押すと、ビデオフェーダーの校正を実行します。
LED Dimmer	0 ~ [7]	トップ・パネルLEDの明るさを調節します。
Menu Background	0 ~ [4] ~ 7	メニューの背景の透過度を設定します。
Menu Position	[Left]、Right	メニューの表示位置を切り替えます。 [MENU] ボタンを押しながら左右の[CURSOR] ボタンを押すことでも切り替えることができます。
Test Pattern	[OFF]、ColorBar75%、ColorBar100%、Ramp、Step、Hatch、Frame、Frame(PVW)	テストパターンを選択します。
Factory Reset		V-800HDの設定を工場出荷時の状態に戻します。 [Execute] で [ENTER] ボタンを押したとき、確認画面が表示されます。
1.5 System Information	SystemメニューでV-800HDのバージョンが確認できます。 【注意】 旧バージョンとのメモリー互換はありません。 アップデート後の初回起動時に自動でファクトリー・リセットが実行されます。	

MIDI の詳細設定

項目	表示／設定値	解説
Status	OFF、[Native]、V-LINK Master、V-LINK Slave、MVC Slave	V-800HD の MIDI リモート・コントロール・モードを選びます。
	OFF	MIDI 通信を行わない。
	Native	V-800HD の標準メッセージで MIDI 通信を行う。
	V-LINK Master	V-Link マスターとして MIDI 通信を行う。
	V-LINK Slave ※	V-Link スレーブ機器として動作する。
	MVC Slave ※	MVC(MIDI Visual Control)スレーブ機器として動作する。
Through Output	[OFF]、ON	MIDI OUT/THRU 端子の動作を選択します。
Channel	[1] ~ 16	Native で使用する MIDI チャンネルを選択します。

※ V-Link Slave、MVC Slave は Native 動作中に外部マスター機器よりメッセージを受信することで切り替わります。

Output Capture の詳細設定

項目	表示／設定値	解説
Source Bus	[PGM]、PVW、AUX	どのバスの出力から静止画を作るかを選択します。選択したバスの映像は、マルチ・ビュー・モニターの[PGM]領域に表示されます。
Distination		静止画の内部メモリー番号を選択します。
Still Image	[1] ~ 16	使用されている番号には [*] が付きます。
Memory No.		[Execute] で [ENTER] ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

※ アウトプット・フェードが [Fade to Still Image] になっている場合や、Ch.10 のソースが [Still Image] になっている場合は使用できません。

Output Fade の詳細設定

項目	表示／設定値	解説
Mode	[Fade to Background]、Fade to Still Image、Output Freeze	アウトプット・フェードのフェード先イメージを選択します。
	Fade to Background	単色にフェード。
	Fade to Still Image	静止画にフェード。
	Output Freeze	プログラム出力を静止する。

Fade to Background

項目	表示/設定値	解説
Time	0.0s ~ [0.5s] ~ 10.0s	バックグラウンドにフェードする時間を設定します。
Color Setting		以下の項目でバックグラウンド色を設定します。
Red	0 ~ [16] ~ 255	赤レベルを設定します。
Green	0 ~ [16] ~ 255	緑レベルを設定します。
Blue	0 ~ [16] ~ 255	青レベルを設定します。

Fade to Still Image

項目	表示/設定値	解説
Time	0.0s ~ [0.5s] ~ 10.0s	静止画にフェードする時間を設定します。
Still ImageMemory No.	[1] ~ 16	静止画が保存されている内部メモリ番号を選択します。使用されている番号には [*] が付きます。
Position H	-1920 ~ [0] ~ +1920*	横方向の表示位置を設定します。
Position V	-1200 ~ [0] ~ +1200 *	縦方向の表示位置を設定します
Color Correction	-64 ~ [0] ~ +63	以下の項目で、色補正を行います。
Brightness	-64 ~ [0] ~ +63	明るさを調節します。
Contrast	-64 ~ [0] ~ +63	コントラストを調節します。
Saturation	-64 ~ [0] ~ +63	彩度を調節します。
Red	-64 ~ [0] ~ +63	赤レベルを調節します。
Green	-64 ~ [0] ~ +63	緑レベルを調節します。
Blue	-64 ~ [0] ~ +63	青レベルを調節します。

※ 入出力フォーマット等の条件により、設定値の範囲は変化します。記載の値は最小/最大値です。

Multi-view Labelの詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Indicate	OFF、[ON]	タリー枠とラベルを表示する/しないを選択します。
Labe		
PVW	["PVW"]	[ENTER] でボタンで、PVW領域のラベル入力画面を表示します。
PGM	["PGM"]	[ENTER] でボタンで、PGM領域のラベル入力画面を表示します。
Ch.1 SDI	["CH.1 SDI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル1 (SDI) のラベル入力画面を表示します。
Ch.1 Composite	["CH.1 CMP"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル1 (コンポジット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.2 SDI	["CH.2 SDI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル2 (SDI) のラベル入力画面を表示します。
Ch.2 Composite	["CH.2 CMP"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル2 (コンポジット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.2 Shared Input	["CH.2 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル2 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.3 SDI	["CH.3 SDI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル3 (SDI) のラベル入力画面を表示します。
Ch.3 Composite	["CH.3 CMP"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル3 (コンポジット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.3 Shared Input	["CH.3 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル3 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.4 SDI	["CH.4 SDI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル4 (SDI) のラベル入力画面を表示します。
Ch.4 Composite	["CH.4 CMP"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル4 (コンポジット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.4 Shared Input	["CH.4 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル4 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.5 DVI-I	["CH.5 DVI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル5 (DVI-I) のラベル入力画面を表示します。
Ch.5 RGB/Component	["CH.5 RGB"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル5 (RGB / コンポーネント) のラベル入力画面を表示します。
Ch.6 DVI-I	["CH.6 DVI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル6 (DVI-I) のラベル入力画面を表示します。
Ch.6 RGB/Component	["CH.6 RGB"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル6 (RGB / コンポーネント) のラベル入力画面を表示します。
Ch.6 Shared Input	["CH.6 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル6 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.7 DVI-I	["CH.7 DVI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル7 (DVI-I) のラベル入力画面を表示します。
Ch.7 RGB/Component	["CH.7 RGB"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル7 (RGB / コンポーネント) のラベル入力画面を表示します。
Ch.7 Shared Input	["CH.7 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル7 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.8 DVI-I	["CH.8 DVI"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル8 (DVI-I) のラベル入力画面を表示します。
Ch.8 RGB/Component	["CH.8 RGB"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル8 (RGB / コンポーネント) のラベル入力画面を表示します。
Ch.8 RGB/Component	["CH.8 RGB"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル8 (RGB / コンポーネント) のラベル入力画面を表示します。
Ch.8 Shared Input	["CH.8 SHR"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル8 (シェアード・インプット) のラベル入力画面を表示します。
Ch.9 Still Image	["CH.9 STL"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル9 (静止画) のラベル入力画面を表示します。
Ch.10 Still Image	["CH.10 STL"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル10 (静止画) のラベル入力画面を表示します。
Ch.10 Background	["CH.10 BG"]	[ENTER] でボタンで、チャンネル10 (背景) のラベル入力画面を表示します。

Cross-point Assign の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Cross-point		
1	[Ch.1] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 1 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
2	Ch. 1 ~ [Ch.2] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 2 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
3	Ch. 1 ~ [Ch.3] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 3 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
4	Ch. 1 ~ [Ch.4] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 4 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
5	Ch. 1 ~ [Ch.5] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 5 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
6	Ch. 1 ~ [Ch.6] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 6 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
7	Ch. 1 ~ [Ch.7] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 7 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
8	Ch. 1 ~ [Ch.8] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 8 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
9	Ch. 1 ~ [Ch.9] ~ Ch.10、None	Cross-point ボタン 9 に割り当てる入力チャンネルを選択します。
10	Ch. 1 ~ [Ch.10]、None	Cross-point ボタン 10 に割り当てる入力チャンネルを選択します。

USB Memory Parameter の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Load		[ENTER] ボタンで読み込みファイル選択画面を表示します。
Save		[ENTER] ボタンで上書きファイル選択画面を表示します。
Save As		[ENTER] ボタンで新規保存ファイル名の入力画面を表示します。
Delete		[ENTER] ボタンで削除ファイル選択画面を表示します。

USB Memory Still Image の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Still Image Memory No.	[1] ~ 16	静止画を読み込むための内部メモリー番号を指定します。 使用されている番号には [*] が付きます。
Load		[ENTER] ボタンで読み込みファイル選択画面を表示します。

Still Image Delete の詳細設定

項目	表示/設定値	解説
Still Image Memory No.	[1] ~ 16	静止画を削除する内部メモリー番号を指定します。 使用されている番号には [*] が付きます。
Execute		[Execute] で [ENTER] ボタンを押すと、静止画ファイルの削除を実行します。

メッセージ一覧

Processing.	静止画読み込みや、キャプチャー処理中など、本機が処理中のときに表示されます。このとき、電源を切らないでください。
Push ENTER to execute.	USBメモリーのフォーマットなど、事前に確認の必要がある場合に表示されます。[ENTER]を押すと実行します。 [EXIT]を押すとキャンセルします。
Set at upper (lower) position and push ENTER.	ビデオ・フェーダーの校正をします。ビデオ・フェーダーを上側（または下側）に倒して[ENTER]を押してください。
USB memory is not ready.	USBメモリーが本機で認識できないときに表示されます。
File not found.	USBメモリーに本機で認識できるファイルが存在しないときに表示されます。
File exists.	Save Asで指定したファイル名と同名のファイルがすでに存在します。
Cannot write file.	ファイルが正しく書き込めないときに表示されます。
Cannot read file.	ファイルが正しく読み込めないときに表示されます。
illegal file format.	本機で認識できないファイルを読み込もうとしたときに表示します。ファイルが破損している可能性があります。
Turn off [DSK].	DSKをONにして最終出力を行っている最中にKeyメニューのModeで[External Key]を選択すると表示されます。 DSKをOFFしてください。
[External Key] mode. [DSK] is not available.	エクスターナル・キーが有効のとき、DSKメニューで表示されます。DSKを使用する場合はKeyメニューでModeを[Self Key]に変更してください。
Select [Fade to Background] in [Output Fade] at first.	Output Fadeが[Background]以外の設定のとき、Output CaptureやCh.10で[Still Image]を選ぼうとすると表示されます。これらの設定を行うには、あらかじめOutput Fadeの設定を[Background]にしてください。
Select [Background] for [Input Ch.10] at first.	Input Ch.10が[Still Image]のとき、Output Captureを行おうとしたり、Output Fadeの設定を[Fade to Still Image]や[Output Freeze]に変更しようとする则表示されます。これらの設定を行うためには、Input Ch.10を[Background]に設定してください。
DVI output will be continued. Others will be stopped. Push ENTER to execute.	HDCPをONにするときに表示されます。SDI、SD、RGB/Componentの出力は停止します。[ENTER]ボタンを押すと確定します。 [EXIT]を押すとキャンセルされます。
Signal with HDCP cannot be input. Push ENTER to execute.	HDCPをOFFにするときに表示されます。HDCP入力はできなくなります。[ENTER]を押すと確定します。 [EXIT]を押すとキャンセルされます。
Fan error	冷却ファンに異常があります。お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。